

---

塩野直道賞

高等学校の部

組み合わせゲームへの確率の導入について

東京都 筑波大学附属駒場高等学校 3年 石堀 朝陽

講 評

将棋や碁のような組み合わせゲーム（対戦ゲーム）に確率を導入し、ゲームの挙動を調べました。一般のゲーム理論では、ジャンケンのようなゼロサムゲームには、確率を導入することによりナッシュ均衡（自分だけが手を変えたら損になるので、どちらも手を変えることはできない均衡状態）が存在することはよく知られていますが、ニムのような対戦ゲームに「確率」を導入して調べるといふ考え方は面白いと思われます。

中央審査委員会

---